

VOL.29
NEWSLETTER 2017

特定非営利活動法人 産学連携学会 ニュースレター

J-SIP

Japan Society for Intellectual Production

CONTENTS

1. [特集]

特集1 / 産学連携学会第15回大会とその開催地、とちぎ

産学連携学会第15回実行委員会

特集2 / 産学連携学会から産学官連携深化ワーキングに対して「ガイドライン検討に関する意見書」を提出

産学連携学会 会長 小野浩幸(山形大学)

2. [TOPIC]

TOPIC 1 / 平成28年度産学連携学会シンポジウム

「革新的新事業創出～今、大学の産学連携はHow からWhat へ」を開催

産学連携学会 理事 松本毅(株式会社ナインシグマ・ジャパン)

TOPIC 2 / 関西・中四国支部第8回研究・事例発表会を開催

産学連携学会関西・中四国支部 代表 秋丸 國廣(愛媛大学)

3. 輸出管理DAY for ACADEMIA 2017の共催

4. 会告 / 諸報・ご案内

輸出管理DAY for ACADEMIA 2017の共催

輸出管理DAY for ACADEMIA 2017が2月28日に芝浦工業大学豊浦キャンパスを会場に開催されました。産学連携学会は初回から共催機関として

諸報

開催日	イベント名	開催地
1月17日(火)	主催 平成28年度産学連携学会シンポジウム	東京
27日(金)	リサーチアドミニストレーション(RA)研究会 第5回研究会	川崎
2月		
28日(火)	主催 輸出管理DAY for ACADEMIA 2017	東京
3月	主催	
16日(木)	主催 九州支部 平成28年度産学連携ネットワーク会議	鳥栖
24日(金)	主催 学金連携システム研究会 第17回研究会	広島

ご案内

開催日	イベント名
-----	-------

編集後記

今回の特集2では、産学官のイノベーションを促進するため経済産業省と文部科学省が昨年11月に策定した、「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」について取り上げました。ガイドライン策定を進めていた「産学官連携深化ワーキンググループ」に対する産学連携学会の意見書提出について紹介しました。

昨年8月には、経済産業省と文部科学省は、産学官連携による理工系人材育成の取組を推進する方策の検討・実行を目的とし、「理工系人材育成に関する産学官行動計画」を取りまとめました。この行動計画では、「産業界のニーズと高等教育のマッチング方策、専門教育の充実」、「平成28年度から重点的に着手すべき取組として業界における博士人材の活躍の促進方策」、「理工系人材の裾野拡大、初等中等教育の充実」の3つのテーマを掲げています。本計画は毎年度、取組の進捗状況をフォローアップし、円卓会議で確認した上で、必要に応じて改訂を行うこととしています。この3月には文部科学省より国立大学に対し、関連する取組の状況を報告するよう依頼がありました。産学官連携を通じた社会貢献を目指す国立大学教職員の一人として、産学官連携が担う機能は増々強化・拡大が求められていると感じています。その強化・拡大に向け、貴重な場である産学連携学会での情報共有・議論の充実をニュースレター編集担当者一人として担っていくことができたいと思っています。

産学連携学会ニュースレターで取り上げてほしい話題などご意見・ご要望をお待ちしております。

編集担当 内島 典子(北見工業大学)



プロメテウスの火

人類は火とそして知恵を授かり、しかし未来を知る能力を失った。代わりに得たのは、希望であった。今、私たちは破壊と創造の火を燃やす。

お知らせ

【産学官連携活動写真募集】

産学連携学会では、みなさまからの産学官連携に関するお写真を募集しています。ニュースレターで、ご紹介いたします。産学官連携による人材育成や開発商品、セミナー、イベントなどの活動情報を広く発信しませんか。ニュースレターでの掲載をご希望の方は産学連携学会事務局(j-sangaku@j-sip.org)までできるだけ高解像度のお写真とともに200字以内のキャプションを添えてご連絡ください。みなさまからのご連絡、お待ちしております。

【産学連携学会のメールマガジンでの情報発信】

産学連携学会ではメールニュースを配信し、「イベントのお知らせや公募情報等、産学連携に関する情報をお伝えしています。会員のみみなさまへの情報の配信をご希望の方は、news@j-sip.orgあるいは産学連携学会事務局(j-sangaku@j-sip.org)まで情報をお寄せください。

バックナンバー：http://j-sip.org/mail_news.htm